

檜山管内 せたな町立北檜山小学校

1 学習活動の概要

「ウポポイ」の職員による講話や、「アイヌ古式舞踊」、伝統楽器の演奏の鑑賞等を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深めるとともに、自分が生まれ育った地域への関心を高め、郷土を愛する心を育む教育活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 事前の学習

社会科「憲法とわたしたちの暮らし」の学習において、先住民族の人たちの人権について学び、基本的人権がどのように守られているかについて理解を深めました。また、「幕府の政治と人々の暮らし(江戸時代)」の学習において、アイヌの人たちの昔の生活の様子や、歴史等について理解を深めました。

(2) 体験活動

講話を聞いたり、伝統舞踊・伝統楽器の演奏を鑑賞したりすることを通して、アイヌの人たちの歴史と文化等について理解を深めました。さらに、展示室で実際に使われている道具等を見学することを通して、アイヌの人たちの当時の生活様式についても理解を深めました。

(3) 事後の学習

学んだことをまとめ、リーフレットを作成しました。作成を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等に係る学習の振り返りを行うとともに、作成したリーフレットを交流することで、新たな気付きや、課題意識をもち、アイヌの人たちの歴史・文化等に係る学習に対する興味・関心を高めました。



【展示室見学の様子】



【作成したリーフレット】

3 児童の感想等

- ・北海道の歴史や文化、自然などと触れ合い、学ぶことができました。これから、もっと詳しく知りたいです。
- ・アイヌの人たちの文化や踊りなどを実際に見ることができたので、詳しく知ることができました。
- ・アイヌの人たちは、動物や植物をカムイ(神)として接してきたことが分かりました。
- ・アイヌの人たちの昔の生活の仕方について知ることができました。
- ・アイヌの人たちのあいさつに実際に触れたり、歌や踊りを見たりすることができて楽しかったです。
- ・建物のいろいろな場所にアイヌ語が書かれていて、とても興味をもちました。